

令和6年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立館山さざなみ学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

中学年

- ・個に応じた運動能力を、個別指導を充実させ支援したことで、技能を高めることができた。
- ・少人数の環境で、一人一人がまんべんなく運動に取り組むことができた。
- ・自分自身の体の変化に気付きながら、その変化に応じて運動の領域が広がった。
- ・個に応じて泳力別練習を行った結果、すべての児童が自分の目標を達成することができ、水泳に対しての恐怖心と苦手意識がなくなった。

高学年

- ・個に応じた運動能力を、個別指導を充実させ支援したことで、技能を高めることができた。
- ・少人数のゲーム活動を通して、チーム内での自分の役割や、得意なことを見つけ取り組むことができた。
- ・自分自身の体の変化に気付きながら、その変化に応じて運動の領域が広がった。
- ・個に応じて泳力別練習を行った結果、すべての児童が自分の目標を達成することができ、水泳に対しての恐怖心と苦手意識がなくなった。

(2) 課題

中学年

- ・運動に苦手意識があり、体の使い方がわからない。
- ・人数が少ないため、ゲームの指導が難しい。

高学年

- ・苦手意識のある種目に対して、児童の実態に合わせて目標を設定し「できた」を感じられるようにしたい。
- ・自ら準備運動したり、必要な準備運動をしたりして自分の運動能力を高めようとする自主性を養っていききたい。

3 授業改善のポイント（観点別）

中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自分の体についての知識を高めさせていく。本校で行っている自立活動と関連付け、健康な体を維持するためにはどのようなことが大事か具体的に示していく。 ・運動経験の不足から、巧緻性や持久力に乏しい児童も多いので、「できる/できない」ではなく、「できるようになるために」の声掛けの指導を心がけていく。	・児童の実態に合わせたルールを児童に考えさせ、勝敗だけではなくどうしたらよりよい動きができるかを自分たちで考えさせる。	・短縄跳びや水泳、持久走などの個人で取り組む運動について、目標を設定させることで意欲的に取り組ませる。 ・自立活動などの記録も含めて体力がついたことを実感させていく言葉がけを大事にしたい。

高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自立活動と並行して、自分の体への意識を高めていく。 ・技や技能のポイントを具体的に提示する。タブレットを活用し、映像で自分の動きを確認させ、技や技能のポイントをつかませるようにする。	・運動種目はゲーム的な要素が多くルールや作戦なども自分たちで作っていくことをさせたい。また、自立活動などの記録も含めて、自分の体力や動きが成長したことを実感させていく指導を行っていく。	・運動に取り組む姿勢もしっかりと定着してきている。苦手だった種目にも自分から取り組めるようになってきている。今後もできる運動からはじめて、スモールステップで良さを認めて、伸びを実感させていく。